

【 検 査 】

4 4 8 P C T 定量と細菌培養同定検査（血液）の併算定について

《令和 7 年 2 月 2 8 日》
《令和 8 年 6 月 1 日更新》

○ 取扱い

敗血症疑いに対する D007「58」プロカルシトニン（P C T）定量と D018「3」細菌培養同定検査（血液）の併算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

P C T 定量は、速やかに検査結果が得られ、診断及び治療に迅速性が求められる敗血症では有用な検査であり、一方の細菌培養同定検査（血液）は、確定診断ならびに確定診断後の治療薬の選択のために必要不可欠な検査である。

全身性感染症で重篤な病態である敗血症では早期の診断及び原因菌の同定が必要である。

以上のことから、敗血症疑いに対する D007「58」P C T 定量と D018「3」細菌培養同定検査（血液）の併算定は、原則として認められると判断した。